

幼珠連通信

全国幼児珠算教育連盟
発行責任者 大西信二

○～5歳で決まる！ 会長 井上 文克

2011年4月30日初版第一刷発行 (株)扶桑社発行、「0～5歳で決まる！脳のを無限に引き出す幼児教育」という長い題名の本を紹介します。著者・苫米地 英人(とまべち ひでと)は著書『英語から逆から学べ！』(フォレスト出版社)、『テレビは見てはいけない』(PHP研究所)、『ほんとうに頭がよくなめ「速読脳」の作り方』(PHP研究所)、『聴くだけ！クラシック音楽で脳が目覚める』(ベダルフアーブックス)など多数の新しい本を出されている。52歳(1959年生)。脳機能学者・計算言語学者・分析哲学者・認知心理学者。カーネギーメロン大学博士、カーネギーメロン大学C y L a b兼任フェロー、実業家。上智大学外国語学部英語学科卒、2年間の三菱地所勤務を経て、フルブライト留学生としてイエール大学院に留学。人工知能の父と呼ばれるロジャー・ジャンクに学ぶ。その後、コンピューター科学の分野で世界最高峰であるカーネギーメロン大学院に転入。計算言語学の博士号を習得(日本人初)。帰国後、徳島大学学術教授、ジャストシステム基礎研究所長、通商産業情報処理振興審議会専門委員などを歴任。現在は(株)ドクター苫米地ワークス代表、コグニティブリサーチラボ(株)CEO・角川春樹事務所顧問、米国公益法人The better world foundation 日本代表などで広範囲に活動。中国南開大学の客員教授、全日本気功師会副会長、天台宗ハワイ別院国際部長、財団法人日本催眠術協会理事、TPIインターナショナル代表。

私は先生の名前の読み方が解らなかつたことから、その活動に強く惹かれていた。先日、読売新聞の書籍広告欄で、先生が「幼児教育」についての本を出版されていることを知り、即、近鉄百貨店書籍部で入手し、一気に読了。新しい幼児教育の誕生の感が深い。

これこそ、幼児の脳がスクスク育つ！と、苫米地流幼児教育の4つのキーワードの実践を決意した。

4つのキーワード、「クリティカルエイジ＝脳が最も効率よく学習する期間」

自己イメージ＝自分で自分のことをどう見ているか？」

コンフォートゾーン＝心身ともに リラックス。脳の働きが向上する空間」

抽象度＝IQがアップする重要な能力である。苫米地流幼児教育では、子供が将来あらゆる職業に就くことができるように、土台となる様々な脳裏を習得させることがポイントになります。人間の脳はトレーニングをやらないと能力が育たないのではなく、そもそもその程度のことをこなすポテンシャルを潜在的に備わっています。では、何が本来備えている能力を封印して、人の可能性に限界を作ってしまうのか。答は「自己イメージ」です。自己イメージの限界が生まれた瞬間に、脳の成長も止まってしまうのです。

親が子供に対して行う教育は、自己イメージの限界を徹底的に取り上げることなのです。
(210頁参照)「0～5歳で決まる！脳のを無限に引き出す幼児教育」価格14000+税

珠 吟

しゅげん - 77 -

長い目で生徒指導に心がけよう！

どのような事柄でも成功させるには、基本となるものが

「思考の三原則」といわれるものです。

一つは物事を行うに当たり、目先にとらわれず、長い目でみることです。

二つめは一面だけを見ないで多面的、全面的にみることです。

さらに、三つめは枝葉末節しょうまつせつにとらわれず、本質を見ることです。

私達 日々の生徒の指導に於いても、なかなか理解できない生徒に対し また、数回、検
定試験に連続して不合格になって成果を示されない生徒に対して、「早く解って！、よい
成果を！」と先を急いでしまいがちです。

生徒の進歩・成長というのは個人差があり、また、学年が進むと共に上達の進歩が大きく
現れる晩成型の生徒も数多くいます。どの生徒にも時間をかけて じっくりと指導に当た
ることが最も大切なことでしょう。

また、ある時は指導者が一生懸命になるあまり、教室の運営を多面的にとらえることを
忘れ、目の前の単一的な目標ばかりに目がいってしまい、時には 保護者からの不評をか
ってしまう事もありましょう。さらに、結果さえ出せばいいと、大きな問題には目をつむ
り、手をつけようとしめないなど 本質思考を忘れてしまう場合も考えられます。

私達は預かった一人ひとりの生徒をじっくり育てていくために、指導方法などを多面的
に分析し、対策を立てて、それぞれの生徒・保護者の満足度に答えられるように努めるこ
とが必要です。それが珠算教育の振興になり、社会からも評価をうけることにもなります。

私達、珠算教育関係者が所属する珠算協会や連盟も、新年度に入り担当も一新したこと
であり、組織としての各事業も「長い目で」「多面的に」「本質を」の三つの視点を考慮し
て、各地域の珠算教育に努めなければなりません。今後の珠算教育界を考え、目先にとら
われることなく、珠算教育の本質を厳守し、多面的、全角的に見て珠算事業に運営してい
きましょう。

珠の輪が一同に集い、競う

2011年度 全日本ユース珠算選手権大会成績

2011.4.17

於・立命館小学校

総合競技

アンダー10(10歳未満)

アンダー12(12歳未満)

1位	弥谷 拓哉	埼玉県	890点
2位	小米良千裕	大分県	890点
3位	金本 三夢	奈良県	890点
4位	水野 翔允	千葉県	885点
5位	上原 和子	沖縄県	875点
6位	原子 雄成	東京都	870点
7位	金本 大夢	奈良県	850点
8位	森 咲月	北海道	850点
9位	山川 智也	埼玉県	845点
10位	三島 孝太	三重県	835点

1位	赤堀 愛果	岐阜県	900点
2位	中村 一輝	千葉県	900点
3位	安岡 友輝	京都府	890点
4位	一 長門	大阪府	890点
5位	梶 匠詔	愛知県	880点
6位	黒澤 大地	埼玉県	880点
7位	宮本理香子	東京都	880点
8位	狩野 磨妃	長崎県	880点
9位	山岡 智紀	三重県	880点
10位	照屋 里佳	沖縄県	880点

アンダー15(15歳未満)

種目別優勝者

1位	原子 弘務	東京都	900点
2位	前島幸太郎	埼玉県	900点
3位	玉那覇有亮	沖縄県	900点
4位	鈴木ひとみ	兵庫県	900点
5位	北村 瑠菜	千葉県	895点
6位	杉本 浪乃	愛知県	895点
7位	廣石 佳穂	岡山県	895点
8位	小堀 夏菜	埼玉県	890点
9位	関谷真生子	岐阜県	885点
10位	松崎 翼	千葉県	885点

かけ算	原子 弘務	東京都	21.817秒
わり算	玉那覇有亮	沖縄県	14.913秒
みとり算	玉那覇有亮	沖縄県	14.754秒
かけ暗算	赤堀 愛果	岐阜県	9.038秒
わり暗算	玉那覇有亮	沖縄県	5.117秒
見取暗算	赤堀 愛果	岐阜県	11.169秒

フラッシュ暗算優勝者

アンダー10	弥谷 拓哉	埼玉県	3.0秒
アンダー12	赤堀 愛果	岐阜県	2.6秒
アンダー15	玉那覇有亮	沖縄県	2.4秒

主催：全国幼児珠算教育連盟

協賛：京都珠算振興会

立命館小学校

後援：日本珠算連盟

(社)全国珠算教育連盟

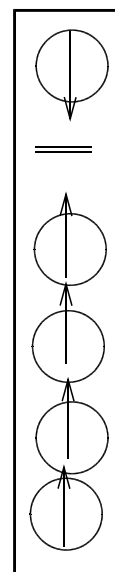
(社)全国珠算学校連盟

今春、久しぶりに塾生を引率して、春のレクリエーションとして遊園地に行きました。その折に、塾生達と共に、「にんげんそろばん」をして楽しいひとときを過ごしました。二十数年前に本誌で「人間そろばん」を掲載したことがありましたが、改めて紹介します。

マスゲーム「にんげんソロバン」

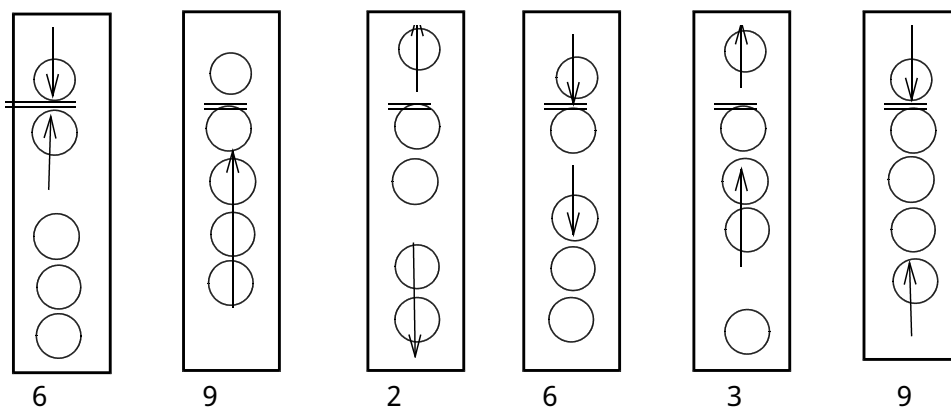
図(1)

生徒を5名ずつグループ(チーム)を組む。
 チーム毎に五珠を1名、一珠を4名を決め、その役割を説明。
 各チームが図(1)のように配置させる。
 先生が読上暗算を読み上げる。
 生徒はそろばん珠となり、暗算をしながら、一歩 前後に動く。
 生徒(珠)が慣れるまでは、ゆっくりした、読上暗算とし、慣れるにつれて、テンポを速め、読み上げる。(一斉に珠が動く)
 生徒(珠)は先生の読上げるリズムにあわせて、前後に飛び交うに行動すると、楽しんで「にんげんそろばん」が完成する。
 最初は1つのチームから行い、慣れれば、各チームが一斉に行う。
 グループの様子により、2チームで決勝をさせる。
 さらに、10名のグループにより2桁の加減算を行うとよい。



具体例として

願ひましては6円也	たして3円也
引いて 7円也	たして4円也
引いて 3円也	たして6円では・・・一斉に答を答える。



各生徒がそろばんの珠を浮かべて、珠になり、前に飛んだり、後ろに下がったりして、各グループ(チーム)の「人間そろばん」が計算します。

先生の読み上げる毎に一斉に飛び交う様子は生徒の喜びが一杯です。チームワークを保ちながら、珠の動きは、まさに「にんげんそろばん」です。

教室でも、生徒を机の行間に起立させて、「にんげんそろばん」を行う事もできます。

近畿地域以外の日珠連会員の生徒も受験できるようになりました。

主催 日本珠算連盟 近畿珠算団体連合会

平成23年度伝票算検定試験案内

第4回検定試験：平成23年 7月 3日(日)

第5回検定試験：平成23年10月30日(日)

第6回検定試験：平成24年 2月19日(日)

伝票算1.2.3級検定試験

1.2.3級とも20題問題、制限時間20分で140点以上で合格。

但し、各級とも満点200点合格は合格証書に満点合格を表示。

受験料：各級の受験料：800円(合格者に合格証書と合格シールを授与)

伝票算段位(準初段～十段位)検定試験

1題10枚5桁～9桁、70字加算 30題問題(60枚伝票)制限時間10分

段位試験	5桁2枚(10字)	6桁2枚(12字)	7桁2枚(14字)	総字数 70字
	8桁2枚(16字)	9桁2枚(18字)		

合格基準

合格段	合格得点	合格段	合格得点
準段位	90点	五段位	180点
初段位	100点	六段位	200点
準弐段位	110点	七段位	220点
弐段位	120点	八段位	240点
準三段位	130点	九段位	260点
三段位	140点	十段位	290点
四段位	160点	満点十段	300点

受験料： 受験料：1000円

昇段者には段位合格証書と
段位合格シールを授与。

【各級合格文鎮も有償で準備】

練習用の伝票は朝日プリント社で
取り扱っています。

各連盟から事務局へ申込期日・成績報告等の日程

	第4回検定	第5回検定	第6回検定
試験日	平成23年7月3日	平成23年10月30日	平成24年2月19日
受験者数申込 受付期間	平成23年6月2日(木) ～6日(月)	平成23年10月3日(月) ～6日(木)	平成24年1月30日(月) ～2月2日(木)
ポスターの配布	平成23年2月上旬		
申込書の配布 報告書の配布	平成23年2月上旬		
伝票問題・答案 用紙の配布	平成23年6月13日(月)	平成23年10月11日(火)	平成24年2月6日(月)
合格者数報告期日	平成23年7月21日(木)	平成23年11月8日(火)	平成24年2月28日(火)
合格証書配布	平成23年8月5日(金)	23年11月30日(水)	24年3月19日(月)

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-1 神戸商工会議所会館内
(社)兵庫県珠算連盟内 伝票算検定委員会

TEL 078-303-5816 FAX 078-303-2313

受験料振込口座：郵便口座 00990-9-327929

団体からの申込扱いとなります。受験希望者はお問い合わせ下さい

新教材の案内

日本珠算連盟の段位認定試験が本年度から下記の問題内容に改訂されましたので、その練習用の問題を編集発行しました。

段位認定試験「暗算の問題」内容

かけ暗算	制限時間3分	全問題無名数	60題	総字数360字
1~20	2桁×3桁	3桁×2桁		
21~40	3×3	2×4	4×2桁	
41~60	3×4	4×3桁		
わり暗算	制限時間3分	全問題無名数	60題	総字数360字
1~20	÷2桁=3桁	÷3桁=2桁		
21~40	÷3=3	÷2=4	÷4=2桁	
41~60	÷3=4	÷4=3桁		
みとり暗算	制限時間4分	30題	総字数1800字	
1~10	4桁揃い10口	10題	11~20	6桁揃い10口 10題
21~30	8桁揃い10口	10題		

「段位暗算練習問題集」B5版 12回分

T-500、教室価格：300円

「段位暗算練習問題」B4版 12回分バラプリントで袋入り

T-500、教室価格：250円

とも内容は同じ、は教本として、はプリントとして活用できます。

申込は：幼珠連事務局 FAX06-6902-1022へ

珠算競技大会の案内

2011年度 近畿小中学生珠算競技大会

主催：近畿小中学生珠算大会運営委員会

後援：日珠連・全珠連・全珠学連・大阪商工会議所・守口門真商工会議所(申請中)

日時：2011年11月3日(祝)午前10時30分～午後4時30分

会場：守口門真商工会館(大阪府門真市)

部門：小学生の部(定員250名)・中学生の部(定員100名)

参加申込：9月1日～15日(但し、定員になり次第締め切らせていただきます)

総合競技：小学生(日商検定2級問題8分間・日珠連暗算検定2級問題2分間)

中学生(日商検定1級問題8分間・日珠連暗算検定1級問題2分間)

特別種目：伝票算競技(小学生2級問題・中学生1級問題)・フラッシュ暗算

種目別競技：×・÷・見・読・×暗・÷暗・見暗・読暗(8種目から2種目選択)

大会事務局：〒570-0012 大阪府守口市大久保町5-7-9

06-6902-2409 FAX06-6902-1022

大会要項と申込用紙は、www.osakasyuzankenkyusyo.com へ

小学校支援活動の現状

大阪府珠算教育連合会が珠算教育を振興する対策の一つとして、小学校への「そろばん」指導とするボランティア支援活動を実施し、十年間を経過しました。顧みると平成12年に53校の小学校へ支援活動が始まり、年々実施校が増え昨年度の平成22年度は195校の小学校へと、支援活動の輪が広がってきました。この10年間にわたる日珠連・全珠連・全珠学連の大阪府下の会員先生方による学校支援活動に心から敬意を表します。

珠算講師派遣校の状況

平成12年度： 53校・13年度： 64校・14年度： 86校・15年度： 107校
16年度： 111校・17年度： 124校・18年度： 139校・19年度： 156校
20年度： 143校・21年度： 189校・22年度： 195校

さらに、大阪府珠算教育連合会では、それ以前に、全国珠算連合が発行した「小学校しゅざん」を大阪府下の全小学校へ無償配布する運動を大阪珠算協会と全珠連大阪府支部の提唱で大阪府下の珠算団体に呼びかけ、昭和46年度に実施されたのがその始まりです。昭和50年度から大阪府珠算団体が結成され、小学校への配布の教材費用を大阪府下の珠算団体が分担して、本格的に実施することになりました。

活動はまず、大阪府下全小学校へ教師用教材・児童用教材を見本として送付し、「採用する」と回答のあった小学校へ、その教材を小学校へ送付する方法で行われてました。

昭和53年3月には現在の大阪府珠算教育連合会と改称され、同年7月2日 大阪商工会議所にて現職研修講師認定講習会が、「小学校新学習指導要領」・「珠算指導〈加減算〉」・「珠算指導〈乗除〉」のテーマで実施、近畿各地から209名の珠算先生方が研修された。

同年7月28日に大阪府珠算教育連合会としては「小学しゅざん」を小学校へ配布するだけでなく、小学校3年算数の中でそろばん学習を推進するために小学校教員に対する珠算指導説明会を開催し、「そろばん学習の指導法」の講習会を開催した。

現在では、小学校へ「たのしい そろばん」教材を小学3年生、4年生が算数の時間で楽しく指導できるように下記のように小学校へ無償で配布しています。その配布する教材も内容を吟味し、小学生にそろばん学習をしやすいように配慮したそろばん教材「たのしいそろばん」を配布し、珠算教育の振興に努めています。

小学校への「たのしい そろばん」教材配布数

大阪府珠算教育連合会

年度	小学校数	小学3年生		小学4年生	
		教師用	児童用	教師用	児童用
平成17年度	305校	896冊	23780冊	114冊	2819冊
平成18年度	299校	903	23608	88	1907
平成19年度	289校	880	24210	76	1974
平成20年度	320校	975	25700	91	2406
平成21年度	312校	939	24616	231	5384
平成22年度	346校	1028	26260	398	8574